

## 第2回 徳島駅周辺まちづくり計画検討会

### 議事概要

平成31年1月31日（木）13:00～14:30

徳島市役所 第二研修室

- 事務局【資料説明】

- 会長

前回の文化軸のイメージで考えてはどうかという議論から、文化・レクリエーションゾーンという案が出ている。全くの広場というのもありうるが、都市開発的な商業施設や文化施設の整備というのも考えればどうかというプランが描いてある。

徳島駅の方は既存施設をほとんど動かさない形で考えられている。恐らくにぎわい創出ゾーンの北側が実際の駅前広場になるが、もう一つ歩行者・にぎわい空間という大きい広場がある。恐らくこの二つの広場をクレメントの一部改築等、何らかの工夫で繋げていくのだと思う。

駐車場も全て残っているが、これも車の動きや状況が変わっていくと、近くに駐車場が要らないという形も出てくる。そのことを考えていくと、開発用地として考えられる場所もある。そういうことを含みながら、このプランでどうかということだと思います。

資料③の動線計画を見ると、前回の歩行者の動線をまず第一という議論から、歩行者がどこへ向かっていきたいのかを線として入れている。とにかく周りの沿道には車道を通らず行けるような雰囲気にはどうかというのがこの案であると思います。

それ以外の赤い線のところは車が通らざるを得ないので、車と人が共存するような形で道路を作っていく。バスについては紫の道を重点的に使うこととして、拡幅が必要かどうかは今後の検討であるということだと思います。

- E 委員

以前から言っているが、流通用のトラックの荷卸し場が無い。バスの交通広場を複層にして荷卸し場を作ってもらいたい。複層にしてしまえば荷卸し場が作れるし、高速バスも路線バスも入れる。電化が必要だが、貨物の列車輸送が見直されているのもあり、大型車両の入る場所が駅に隣接することで連動できる。

2点目に、車両の居住性のニーズが高まることで大型化が進むと思うし、国交省の政策でも排気量やサイジングによる車種の区分（普通車、軽自動車等）

の基準をより大きいものへ変更しようという動きがある。都市計画の前に車道を広げるべきではないか。

- 会長

車道幅の3m、3.5mという基準はなかなか変えられないが、社会の変化に合わせてそういった対応も考えていかなければいけない。

- E 委員

次に3番目だが、文化・レクリエーションゾーンに写楽の絵や徳島の郷土資料館を入れていただきたい。写楽はインバウンド対策としても大きいと思う。

また、市立体育館については建て替え検討となっているが、史跡が出てくるのでは。今は史跡が出れば建物の建設はできないだろう。それならば徳島中央警察署が移転した跡地の活用について検討した方が良いのではないか。そうすると動線が少し変わってくるかもしれないが。

- 会長

ホールの南側の利用についても考えた方が良く。

- E 委員

もう一つ言わせてもらおうと、今の一番町は飲食ではなく食のまちになっているので、飲み屋街にするならば別のインパクトが必要になる。

あともう一つ、駅前広場に何か一つモニュメントを置いてもらいたい。大体どこの県庁所在地に行っても駅前に歴史上の人物の銅像ぐらい建っている。

さらに言うと、徳島駅前で最も足りないのはコインロッカーだと思う。JR構内に20個ぐらい。何時もフル稼働している。荷物を置く場所が無ければイベント開催はできない。

- 会長

荷物の置き場所を確保してほしいと。普段から必要とする人が少ないから作ってもらえない状態なのではないか。需要があるところは多数設置してあるが、普段から必要なのか。

- C 委員

駅前広場にはシンボルとなる建造物の設置が望まれる。

徳島のコインロッカーは小さいので、外国人旅行者などは荷物を入れられない。旅行者にとって不便なので、大きなコインロッカーを設置していただきたい。

- 会長

コイン式でないものはメンテナンス費用がそれほどかからないので、設置さ

れていてもよさそうだが、そもそも IC カードが普及していない。他の方の意見は。

- F 委員

新ホールへの動線を作ろうとするならば、この道がアイコンとなる様に、きれいな植栽や杉の柵で装飾しなければ駅からたどり着けない気がする。

バスの交通広場もできれば非常に便利だと思うが、この場所は今何があるのか。

- 会長

マンションの裏なので、今ここは線路敷きになっている。他に意見はあるか。

- F 委員

今回の検討と阿波おどり会館までの道が上手く組み合わせればおもしろい。

- 会長

今回その部分については変更はないので、説明は無いが、元々のプランではにぎわい交流軸という都市軸を形成していくことになっている。新町橋通りについては現在、市の方で検討がされている。

- E 委員

歩行者のためを思うと、動線に屋根が必要ではないか。

- F 委員

徳島は雨が少ないので、屋根は必要ないのではないか。アーケードなどは風が通らないので蒸せる。その代りに木を植えればいいのではないか。

- E 委員

アーケード撤去の後で両国橋通りは客が減っているので、失敗という人も多くいる。雨風がしのげるというのはかなり大きい。

- 会長

商店があれば存在は大きいと思うが、何もない土地にぽつんとキャノピーがあるのは違和感がある。

- E 委員

申し訳ないが、市役所の庁舎もそう。前で降りて、今日のように雨が降っていたら、どうするのか。足が不自由な人、車イスを両手で押している人は雨でびしょ濡れになる。

- 会長

よくあるのはバス停やタクシー乗り場にはキャノピーをつけるとか、空港などはそうになっているが、どこまでこのルートにそういったものを付けていくかというとなかなか難しい。なるべく施設の中を繋いでいく方が、具体的な形がどうなるかはわからないが、建物で繋いでいくというやり方はあるかもしれない。

- C 委員

私から一つだけお願いしたい。各ゾーンに歩行者のための公衆トイレを設置してほしい。徳島中央公園など、公園の中にはあるが、まちの中に公衆トイレがない。

- E 委員

文化・レクリエーションゾーンの中にトイレを作るといいかもしれない。もう一つ休憩スペースも必要である。ポッポ街は 168m あるが、通過するお年寄りも真ん中辺りで一度休憩する。数百メートルは歩けないのではないかな。

- 会長

ホールまでは約 600m なので、途中何か所かにベンチを置くといいかもしれない。

- B 委員

先ほどのコインロッカーの話に戻るが、私はハードでコインロッカーを設置するより、店で荷物を預かりますよというアプリがあるので、そういったものを徳島で導入して行って、データを蓄積した上で、需要のある時期だけ設置するなどの方がよいと思う。

コインロッカーは通年で設置する必要はないと思うし、コインロッカーだけでなく、色々なソフトを活用して、どれぐらいのものが必要なのかを実証した上でやっていった方がいいのではないかな。

- E 委員

それは恐らく現状とあってない。我々も毎日のようにポッポ街で旅行者にコインロッカーがどこかと聞かれる。

- B 委員

現状足りていないのはそうだろうが、英語表示やアプリで荷物を預かれる店舗というのがあれば、需要の大きさが確認できる。実際そういうものの導入の支援などをしていけば。

- E 委員
 

一般の店舗に人の荷物を預かるようなスペースはない。
- 会長
 

逆に荷物を預かることのできる店を開拓して、例えばカフェであれば預かってもらう代わりに休んでもらうなど、誘客のきっかけにもできる。
- B 委員
 

そういった誘客もしていかなければ、今は人が還流していかないようになっているので、コインロッカーがあれば、コインロッカーには行くが、それだけで終わってしまうのではないかと思う。
- F 委員
 

例えばそごうの1階に空きスペースがあれば、そのままウォークインで入って荷物を預けられる。デパートでは大体やっているのではないか。そのデパートの領収書があれば1時間無料で、なければ数百円、といった形が考えられる。
- E 委員
 

そごうは公共ではないので問題がある。アミコビルの管理をしている徳島都市開発は第3セクターなので、そちらからのアピールであればできるのかもしれない。
- B 委員
 

場所は色々なところがあるので、そういうところを開拓して行って、データを取っていくというのは重要であると思う。
- 会長
 

需要が見えないからそのアプリが進出していないのかもしれないが。そういったものをグーグルマップに乗せていくと、勝手に見えるようになってくる。
- D 委員
 

アプリの話もそうだが、ハードで何か作ってしまうとメンテナンスが必要になるのとその場所が使いにくくなってしまいうという問題がある。時期に合わせて色々な使い方ができるようにするのが良いと思う。

車両の大型化が進む一方、自動運転という話も今後出てくる中で、時間軸にはずれがある様に感じる。新ホールのことも含め、まちづくり計画のスケジュールについて最新版を作成してはどうか。もう少し細分化されてもいいかもしれないと思うが。

- F 委員

確かに20年先のことを今固めてしまっても同じように修正が必要になっていく。この3年ぐらいでできることをまずやっていくことが重要だと思う。ホールが出来た時に動線がきちんとできている、という考え方でいかなければ、タイミングが合わない。

高架になることが前提となるものだけでなく、阿波おどりなどのイベントに対して出来る対応やホールが出来て人の流れが変わった時の話ができればよい。

- 会長

文化・レクリエーションゾーンをホールと同時に考えていくというのはあるかもしれない。ここは市が頑張るというよりは公民連携的な仕掛けが重要だと思う。この場所を使って何かできないかという提案をもらっていく仕掛け。やれないことはないと思うので、小さく始めて、仕掛けを作っていく。最初はキッチンカーを並べる様なことから始めてもよい。

- 副会長

20年30年先の話なので、この計画で考えるべきことと、状況に合わせていくべきことを分ける必要があって、この計画で考えるべきことは基盤的な話にした方がよい。特に道路幅員の話で、後々のために民地と公共の官民境界ははっきりさせておかなければいけない。

それから、ライフスタイルが変化していく中で、今、固定的に考えるのではなく、色々な実験をしながら取り組んでいく仕組みにしておくことが重要である。5年先のことを今の感覚で行うと間違える。

市役所に求めていくこととして、その実験ができるような規制緩和、特に公共用地の占有許可というのはしていった方がよい。先ほどのトイレの話も、今かなりコンビニが開放しているが、それが誘客動機の一つにもなっている。公共と民間の境界がどんどん変わっているが、日本は公共と民間の境界が非常にはっきりしていて、そのはっきりしていることのデメリットが大きいので、ここから少しずつ溶かしていく必要がある。

今話している文化・レクリエーションゾーンに関しても、何かを整備するというよりは、空間を空けておいて、今年は植栽を並べる、来年はウッドデッキを敷いてみる、というのを実験していく。そういった仕掛けをどんどんやっていくということをきちんと位置付けていく必要がある。

それと、個人的にはやはり地上で行うことが重要だと思っている。駅地下がよい場所になっているが、見えないのもったいない。ああいったものも実験的に地上に出てきてもらおうと相当雰囲気が変わる可能性があると思っている。屋根やコインロッカーの話は非常にリアリティがあるが、時間軸がそういったリアリティの話ではないと思う。

後はどこかに5年刻み程度の実験をしていくということを書いてもらって、

そのためだけではないが、規制緩和等で使用の自由度を高める作業をしていくということを行わないといけない。

- E 委員

基盤だけ作っておくのであれば、今商業地となっている場所が病院になるなど、そういった想定もでてこなければおかしい。

- 会長

駅前が物販の場所ではなく、もっとコトを起こすような場所が変わっていくというのは全国的な流れとしてある。土浦の例で言えば、駅ビルの中身が、自転車屋や自転車で泊まれるホテル、自転車で入っていけるカフェなど、全て自転車対応に変わっている。物はネットで買えるようになってしまうので、そこに行って体験するようなものでないと意味がない、となってくる可能性は大きい。

- F 委員

副会長も言っていたが、官民と分けてしまうと空白ができる。官のものでも最終決算書は出てくるので、運営費ぐらいは使用者から回収できるものにするというのは必要だし、コンビニの話ではないが、何か社会の役に立ち、ウィンウィンの関係になれるのであれば、民も、例えば場所を開放する、データを掲載する、イベントの時にはトイレも使用許可する、ということが繋がりを作っていく。

仮設の実験に民も乗せてもらえれば、駅前でマルシェをやって、次はもう少しカジュアルなものをやってみたい、とかいうことが実験的にできる。

それから徳島のいいところはコンパクトなことであり、資料③の赤い点線で囲われた範囲なら、2、3時間あれば歩けるところは全て行けて、ある程度のものが集約している。他の広い都市と比べれば、むしろまちづくりはしやすいのではないか。

- 会長

アイデアがたくさん出てくる中で、基盤は資料の案として考えているイメージになってきたが、他にないか。体育館の場所は建設できないのではという話があったが、広場的な活用はできるかもしれないし、警察署の移転後はしばらくは駐車場として使われそうだが、北側の公園は使えるかもしれない。あるいは中央公民館やトモニプラザも建替えの必要性は出てくる。市役所の話も前回出たが、市役所がそごうに来るということもあり得る。

- F 委員

一番怖いのは中心が空洞化していくことで、国府から市内に来ずに松茂や藍住に行ってしまうとか、小松島市からは JR に乗らないから市内に来る理由がな

いとか。県都としての徳島市の機能を考えると、中心部の機能が衰えることはいいことではない。

- E 委員

全国チェーンの中には県庁所在地の駅前を重要視している企業もある。郊外立地をわざわざ畳み、駅の中に出店している。恐らくは郊外立地より収益が上がるという作戦もあるのだと思う。特に飲食関係については17時から19時の2時間が勝負になっていて、19時台のJRやバスで帰る人たちが時間を潰す場所として駅前が使われている。

- 会長

今、最終バスが19時台の路線もあるのでそうなっているのだと思うが、その後にも走らせて、何時以降は高くなるのかすればできるかもしれない。

- E 委員

そういった意味で、仕掛けで集客ができる場所になりつつあるかもしれない。

- F 委員

収益が上がるかどうかは出店について判断基準の大きいところだが、集客のためにそのまちの持っている力を利用しようとするところがある。この10年ほどで富田町1丁目2丁目に飲食店が自然と集積してきていて、あそこに行けばなにかある、というまちになっている。

だから実験的なエリアで、まだ店舗を持っていない人たちが週末に出店みたいなものをして、それに人が来て、面白くなってきて、ということが集積していけばいい。

それから、休憩スペースという意味では、徳島には意外とカフェなどがぽつんとまぎれている。そういったものがまちの機能としてあるので、滞在できるスペースがある。

- E 委員

松山などではわざわざ商店街の中に空き店舗を使った休憩スペースを作っている。徳島の場合はそれをしなくてもちょっと入れる喫茶店がたくさんある。人が滞在できるスペースを民間が頑張っているのかもしれない。

- 会長

ということは意外と古いタイプの喫茶店が残っているのか。

- E 委員

コーヒー専門店が郊外に行ってほとんど無くなったが、普通のランチを食べ



られるような喫茶店は残っている。

- F 委員

若い子が頑張っている雑貨屋なども。

- D 委員

週に何回かしか出さない形態のものなど、最近増えてきている。

- 会長

そういった人たちが出店できるスペースをこの中に確保していくというのは重要である。

基盤的な道路の話がかなり重要であるという話を前回したが、ルートを想定した上で、道路やスケジュールについて次年度以降検討して、都市計画としてどうしていくかを議論してもらいたい。後は現在ある立体駐車場がどうなるかなど、気になるところはあるが、それに関しても戦略的に考えていかなければいけない。表立ってなかなかできないことだが、次年度以降の検討については、どういう施設が変わっていく可能性があるか、そうなった場合どうするかということ想定しながら検討してもらえればと思う。

資料③の話に移る。今回新ホールへ行く歩行者ルートとして、徳島駅から線路沿いに行くルートと、一番町を通過して八百屋町交差点を渡り、街区の中を抜けていくルートとが想定されている。とりあえずはこの中を抜けていくルートを確保しなければという風に設定されているのかなと思う。それと、場合によっては線路沿いのルートが国道 192 号を渡る部分、思い切って立体化してしまう案や、ホールの 2 階部分に突っ込んでいくようなルートも考えられる。

- F 委員

下るより上がる方が心理的には楽だと思う。階段を下りていくのは怖い。

- 会長

高架した時にやり替えないようにと考えると、かなり上へ上げる必要があるがエレベーターで上げて、3 階レベルで渡るなども考えられる。展望台に近いものが出来るのではないか。交差的にこの部分を横断できるか、色々悩ましいところがある。

- 副会長

新ホールと高架化の時間軸を考えると、高架化に伴ってもう一度計画しなおすことを考えて、仮設のペDESTリアンデッキでも十分問題ないのでは。

- E 委員

ホールにしても、高架化の際には横で大規模な工事が行われる。その振動が伝わる中でクラシックのコンサートができるのか。それに対応したものを作り直さなければいけないのは当たり前ではないか。

- 会長

その辺りはしっかり考えるようだが。

- F 委員

仮説の高架、歩行回廊であればすぐにでも上げられるのでは。上から列車の写真を撮るとか、まちの上から見下ろす方が気持ちが高揚する。

- 副会長

よく減価償却や耐用年数の話は出るが、あまりハイスペックの長期的なものではなく、メンテナンスを行う前提でコストを考えていた方が現実的だと思う。

恐らく今モータリゼーションで言うところとピークに近いような状況だと思うので、もう少し公共交通に代わってくると、駅の位置付けもだいぶ変わってくるのではないかと。ひょっとするとバス路線も徳島駅をハブに放射的に動くという考え方ではなくなっている可能性もある。交通体系が道路、車の技術変化によって変わると、都市の重心も変わってしまうが、その中でも県都の中心部というものの位置付けを明確にもっていることは大きいと思う。

- F 委員

交通を中心に考えるのではなく、まちを支えるために交通のものが上手く配置されていくということなのか。ヨーロッパなどの大きな都市は、まず都市の名所などがあって、それに合わせて色々なものが出来ている。

- 会長

仮設でいいという議論であれば、例えばホールと市役所の間に駅を作るというアイデアもあると思う。

もう少し今回の議論のもとで見直して、早めに掛かれるところ、あるいは仮設でもよいので、実験的にやれるところをこの中に入れてもらうと。

- 副会長

大阪万博の後にデッキなどの使えるものがたくさん余っていきそうだが。

- E 委員

折角の広域連合であるので、知事に資材を引っ張ってきてもらえばどうか。

- F 委員  
しかし大阪万博の時には稼ぎ対策ができていないといけない。ビジネスチャンスなので。間に合わないと言徳島に来てもらえない。
- 会長  
計画のスケジュールに万博などの周辺のイベントの話をターニングポイントとして明記してもらえるとよい。イメージが付きやすくなる。
- 会長  
逆にホールが文化センター敷地になったことで、文化レクリエーションゾーンの活用を実験的にできる可能性があるので、そういったことを発展させていく話と、構造としては今回の案としては了承して、色々な戦略の中で議論していくということによろしいか。
- E 委員  
ゾーニングはもう完璧だと思う。
- 会長  
例えばバスバースやタクシーバースがこの施設数で大丈夫か、送迎スペースはあるので、あとは荷捌きは大丈夫かなど。  
荷捌きをクレメントビルの立体駐車場で行うのはありえないか。
- E 委員  
であれば、駅西駐車場やロータリーの中での交通量が増える。一般の車両と両方が走るようになってしまう。大型車のための動線を用意できるのであれば恐らく大丈夫だと思う。
- 会長  
荷捌きのスペースを考える時には、どう荷捌きの車両が来るかも検討すべきということか。どちらにしてもそごうの荷捌きを考えると、そごう裏の車道に大型車が来る。恐らく今は駅前から来ているので、示された動線で大丈夫かは議論が要る。
- F 委員  
地図で見ていたら、新ホールと市役所が非常に近い。心理的に真ん中で分断されている感じがあるが。文化センターもそうだったが、恐らく新ホールも外で待ち合わせできるようなスペースは無い。ロビーも恐らく人で混雑すると思う。市役所前の比較的広々とした空間を活用し、少しベンチや木を配置した待ち合わせができるスペースが必要ではないか。

- 会長  
市役所側の線路沿いに公園みたいなものはある。
- E 委員  
市役所前に駅をそのまま作ってしまう方が面白い。ただ、駅を作ってしまうと文化ゾーンを通る人が少なくなってしまうかもしれないが。
- 副会長  
両方でいいのではないか。無理やり歩かせるという発想はしない方が良い。要は魅力に引っ張られて必然的に歩くという発想にしておかないといけない。
- F 委員  
新ホールで鑑賞する前に、市役所近辺で一休みできるところや、大体 21 時に催しが終わったとして、どこかで一杯飲んで帰りたいと思っても、周辺がドリンクエリアではなくフードエリアなので場所が無い。
- 会長  
新ホールに上がるためのエレベーターと一緒にあったカフェのようなイメージか。
- F 委員  
そう。行きにコーヒーを飲めて、帰りに 22 時 30 分ぐらいまでやってくれるバーがあるといい。  
一つコアになる施設ができれば、民間がその施設の客をターゲットに周辺に出店することはあり得ると思う。実際に文化センターを閉めてから店舗が少なくなった気がする。  
やはり多くの人が集まるのであれば、その需要に民間も動いて、まちが動いていくことが理想である。駅前もにぎわい創出ゾーンがあるから、その人たちに合わせた何かのショップができていくというような。
- 副会長  
そういった経済活動を公的な制限で止めないようにすることが重要。例えば文化・レクリエーションゾーンにお試しで出店してみる、そこである程度自信のついた人たちがまちの中へ出店していくという、若い人の実験みたいなものをすると、新しい業態にチャレンジしやすくなる。それが、日本では公益性の名のもとで、公共的な場所での私的な活動の制限がはっきりしているので、非常にもったいない。であるのでこの場所はどんどん色々な活用実験を積極的に受け入れますという場所にしてほしい。例えばベースとして電気ガス水道の配管だけは地面に埋め込んでおくなど。それだけで出店者は衛生管理しやすくな

る。そういった理念のようなものを作成しておく、整備の時に仕込みやすい。

- F 委員

商売をしている人にとって、そこでどの程度のコストで永続的にビジネスができるのか、全部リスクを計算してからでないとは出店できない。ただ採算性などはシビアに見切ったうえで、追加の出店や場所がそこでよいのかはいつもチェックしているので、市としてできるのであれば、空き店舗情報や家賃というものを公開してもらえればビジネスがしやすくなる。

- E 委員

新規出店者で今入ってくる人たちには、「会社を辞めた、収入が無いので喫茶店を始めたい、明日から入れるか、お金をどこか貸してくれるのか」などという感覚の人もある。教育を行っているところもあるが、学生などの中には10万円で喫茶店が出来ると思い込んでいる人もいる。内装だけで300万円はかかるのに。条件が初めからそろっていると思込んでいる。新規で実験的に店を出そうというなら、そういった人たちも多いと思わなければいけない。教育をすところから始まることになる。

- 副会長

スタートアップのハードルを下げた方がいいというのは、ハードルを下げることで事業を見切った時のリスクも少なくなるので、回転が速くなるというメリットもある。いいビジネスはきちんと上がっていくので、入り口を広げるとするのが重要。

- E 委員

それこそ学生がバイトで貯めた10万円で出店できるスペースが必要だとすると、ある程度の厨房や什器がそろった状態で提供しなければいけなくなるのではないか。

- F 委員

実験的な出店は面白いと思う。あとは実際に出店する際に自治体の配慮があるかで本当に違う。色々なところで出店しているが、積極的にまちとして歓迎してくれるのか、そのエリアがビジネスを面白いと思ってくれて、公共の空間を少し使ってもいいですよと言ってくれるのかどうかは大きい。

民間でも明らかに市場価値が落ちている場所の家賃交渉を完全に拒否されたり、修繕が満足にされなかったりすると、そこでビジネスをする必要があるのかなと思う。

まちをつくるのはやはり行政だけでもなく、住んでいる人だけでもなく、ショップだけでもない。きれいに組み合わせられないといいまちはできないと思う。

- 会長  
計画の中に、エリアマネジメントに携わるまちづくりの担い手の育成・確保という項目がある。これは早速始まることになっているが。
- E 委員  
それだとまちづくり会社の必要性がまた出てくる。徳島市はまちづくり会社を作らないと言っているが。
- 会長  
組織体制の検討というのが入っている。まちづくり会社ではなくて、違った形態のものだと思う。今おっしゃったようにまちづくり会社はとん挫しているので、今後検討してもらいたい。
- E 委員  
どういったものでもよいが、赤字を出して当たり前という組織では困る。
- F 委員  
5年以内を取組を1つぐらいしてもらいたい。
- 会長  
ターニングポイントを切ってもらって、どこまでに検討を終えて、どこからどこを実行していくというような、段階を作ってもらえれば。
- F 委員  
やはりソフトで早めに取り掛かれるものは取り掛かって実験的にやってみないと、高架を待っていたら今20代の人はいないかもしれない。
- 会長  
掛かれるものについてもできれば優先順位をつけて、2・3年でやるかやらないかを含め目途を立てるものと、5年かけて目途を立てるものなど。メリハリがあった方がよい。
- F 委員  
たくさん目標を立てて、大体やる、というと大体できない。会社でもなんでもそうだが、優先順位で消せるようにしておく。
- 会長  
検討自体も予算化して検討することを認めてもらわなければいけないので、覚悟がいる。そういったものを明確にもらえるといい。

- E 委員

自分の経験からの話になるが、重要なのはやはり意気込みだと思う。さっき話していた仮出店する人々の中から、どれだけ意欲のある人を発掘できるか。行政側での面接なども必要になってくるのでは。

- F 委員

申し訳ないが、ビジネスをしたことのない行政の人間ではそれはできない。

- 会長

まちづくりを進めるための組織体制作りというのは、行政ではできないことをするための話でもある。

- F 委員

民間はビジネスなので、儲からなければ撤退するしかない。自分のリスクの取り方になるので、どこの場所でビジネスをするか。その場所に東京などでなく徳島が選ばれるようにしなければいけない。まちの魅力があって、そこへ人が集まってくるからここでしたいと。そのまちにしかない通りやお店など。全国一様な大型店舗だけのまちはつまらない。

- 副会長

評価検証アイデア出しの仕掛けを入れておきたい。新しい事業でなくとも、規制緩和だけでもずいぶん違う。ソフトをどんどんして行って、失敗は傷が浅いうちにしておけばよい。それを含めて検証だと思う。

- 会長

今日は全部しゃべらせてもらった。現段階で入れられるものについては入れてもらいたい。この話はずっと続いていくので、次へつなげて行ってほしい。市として関係者との協議も必要かと思うが、それを踏まえて取り入れるものを決めてもらいたい。

【議事終了】